

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			特になし
水質調査結果	基本・補助監視地点	基準値 St.1～4:SS=7mg/l St.5～7:SS=11mg/l ・基準値を超える値は観測されなかった。		
	工事の濁り監視地点	基準値 St.8～18, 21～23: SS=11mg/l 13日からイ中仕切工事開始のため、St.21～23を追加した。 ・St.18で7日午後(16mg/l)で基準値を超える値が観測された。 【基準超過回数:St.18=1回(16mg/l)】	・基準値超過日の工事実施状況は、浚渫作業や石材運搬・投入などがあったが、工事箇所周辺の監視地点からは濁りが観測されていないことから、工事による影響ではないと考えられる。 ・基準値を超過した要因は、降雨(降水量58mm)による流入水路部からの濁水の流入、強風・波浪や低潮位時における底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。 ・大雨・時化のため海域は調査を中止した。	
	流入水路部調査地点	・SS=11mg/lを超えた回数:St.A=40回(12～106mg/l)、St.19=40回(12～282mg/l)、St.20=36回(12～564mg/l) ・St.Aでは1日～9日、13日～16日、18日、20日～24日、26日～29日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は7日午後(106mg/l)に観測された。 ・St.19では1日～10日、12日～24日、26日～29日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は7日午後(282mg/l)に観測された。 ・St.20では1日～2日、4日～10日、12日、14日～24日、26日～29日に11mg/lを超えた値が観測された。最高値は7日午後(564mg/l)に観測された。	・流入水路部からの降雨や生活排水などの濁水流入や、波浪による底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。	
	流入水路部調査地点(St.A, St.19, St.20)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。			
気象概況	監視地点において異常値が観測されたのは、7日であった。 ・6日は東よりの風が強く(最大風力6)であり、午後からは流入水路部周辺の調査地点のみ計測した。 ・7日は南東よりの風が強く(最大風力6)であり、降水量は58mmのため、午後からは流入水路部周辺の調査地点のみ計測した。 ・17日は北ないし北西の風が強く(最大風力5)であり、午後からは調査を中止した。 ・21日は北ないし北東よりの風が強く(最大風力6)であり、午後からは流入水路部周辺の調査地点のみ計測した。 ・25日は強風のため調査を中止した。 (最大風力は調査員による現場観測値)			
補足項目(新種等)調査結果	・H18年度環境監視計画に基づく「補足項目(新種等)」に関する年間調査計画は以下のとおり。 カミルモ類監視調査:H18年4月～(原則四季:年4回) ニライカクウサ調査:H18年4月～(原則四季:年4回) オサカナドリカイ監視調査:H18年4月～(原則四季:年4回) オキナヤワラカニ生息監視調査:H18年4月・8月・9月・H19年2月 ・結果についてはホームページにて公表中。			
工事実施状況	・浚渫作業(浚渫工事):4～9、11～16、18～23、26～28日(合計21日) ・大型土のう帆布・移設(D護岸工事):1、3～6、9～11、23～24日(合計10日) ・大型土のう設置(イ中仕切工事):13～28日(合計16日) ・石材運搬・投入(C護岸工事):1～2、4～6、8～29日(合計27日) ・石材運搬・投入(D護岸工事):1、4、7～9、11～16、18～23、25、27～29日(合計21日)			